

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年12月26日
【四半期会計期間】	第38期第2四半期（自平成26年8月16日 至平成26年11月15日）
【会社名】	株式会社銚子丸
【英訳名】	Choushimaru Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石田 満
【本店の所在の場所】	千葉県美浜区浜田二丁目39番地
【電話番号】	043-350-1266（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部長 大和 竜一
【最寄りの連絡場所】	千葉県美浜区浜田二丁目39番地
【電話番号】	043-350-1266（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部長 大和 竜一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第2四半期 累計期間	第38期 第2四半期 累計期間	第37期
会計期間	自平成25年 5月16日 至平成25年 11月15日	自平成26年 5月16日 至平成26年 11月15日	自平成25年 5月16日 至平成26年 5月15日
売上高 (百万円)	8,795	9,079	18,345
経常利益 (百万円)	436	464	1,164
四半期(当期)純利益 (百万円)	240	271	606
持分法を適用した場合の投資利益 (百万円)	-	-	-
資本金 (百万円)	315	315	315
発行済株式総数 (千株)	2,903	2,903	2,903
純資産額 (百万円)	4,985	5,543	5,351
総資産額 (百万円)	7,846	8,677	8,339
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	82.88	93.39	208.93
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	27.00
自己資本比率 (%)	63.5	63.9	64.2
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	448	439	1,152
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	142	102	267
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	90	57	141
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	4,063	4,869	4,589

回次	第37期 第2四半期 会計期間	第38期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成25年 8月16日 至平成25年 11月15日	自平成26年 8月16日 至平成26年 11月15日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.27	39.23

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当社は、平成26年10月15日開催の取締役会において、株式会社オール・エフより、寿司店2店舗の事業を譲受けることを決議し、同日付で事業譲受契約を締結しました。  
詳細は、「第4 経理の状況 1. 四半期財務諸表 注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおりであります。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府・日銀による経済政策や金融政策により、緩やかな回復の兆しがみられるものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や、海外景気の下振れなどの懸念もあり楽観視できない状況となっております。

外食産業におきましては、一部に消費者マインドの回復がみられるものの、消費税率引き上げ後の影響と夏場の天候不順、円安などによる原材料価格の上昇により、先行きについては予断を許さない状況となっております。

このような環境下、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私たちの使命と致します。」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、良質な商品の提供と店舗のサービス及び清潔感向上に専念し、全社一丸となってお客様に愛される店舗作りに邁進いたしました。

店舗開発につきましては、当第2四半期累計期間において、武蔵小金井店（平成26年7月）を新規に出店した結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は84店舗となりました。

販売促進につきましては、評判の「番屋ちらし」や、生スジコを店内調理した「いくら」商品の販売などの銚子丸らしい商品の拡充と、時節の食材によるイベントを継続的に開催し、お客様からご好評をいただきました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は90億79百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は4億42百万円（同5.7%増）、経常利益4億64百万円（同6.5%増）、四半期純利益は2億71百万円（同12.7%増）となり、増収増益となりました。

（注）金額に消費税等は含まれておりません。

#### （2）財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ3億37百万円増加し、86億77百万円（前事業年度末比4.0%増）となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ3億94百万円増加し、58億33百万円（同7.3%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加2億80百万円、原材料及び貯蔵品の増加71百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ57百万円減少し、28億43百万円（同2.0%減）となりました。これは主に減価償却による店舗設備の減少によるものです。

##### （負債・純資産）

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億44百万円増加し、31億33百万円（前事業年度末比4.8%増）となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ1億61百万円増加し、25億29百万円（同6.8%増）となりました。主な内訳は、買掛金の増加1億57百万円、賞与引当金の増加51百万円、短期借入金の増加48百万円及び未払法人税等の減少96百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ16百万円減少し、6億3百万円（同2.7%減）となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ1億92百万円増加し、55億43百万円（同3.6%増）となりました。主な内訳は、当第2四半期累計期間の四半期純利益2億71百万円及び第37期期末配当金の支払78百万円であります。

( 3 ) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して2億80百万円増加し、48億69百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

営業活動の結果獲得した資金は4億39百万円(前年同期は4億48百万円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益4億64百万円、減価償却費1億25百万円、仕入債務の増加額1億57百万円による資金の獲得及び、法人税等の支払額2億88百万円による資金の使用によるものであります。

( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

投資活動の結果使用した資金は1億2百万円(前年同期は1億42百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出97百万円による資金の使用によるものであります。

( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

財務活動の結果使用した資金は57百万円(前年同期は90百万円の使用)となりました。これは短期借入金の純増加48百万円による資金の獲得及びにリース債務の返済による支出26百万円ならびに配当金の支払額78百万円による資金の使用によるものであります。

( 4 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

( 5 ) 研究開発活動

特に記載すべき事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,800,000
計	10,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年11月15日)	提出日現在発行数(株) (平成26年12月26日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,903,600	2,903,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	2,903,600	2,903,600		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年8月16日～ 平成26年11月15日		2,903,600		315,950		236,829

(6) 【大株主の状況】

平成26年11月15日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社オール・エム	千葉県東金市南上宿19-5	784,000	27.00
堀地 かなえ	千葉市美浜区	360,000	12.40
堀地 ヒロ子	千葉市美浜区	285,160	9.82
堀地 速男	千葉県東金市	237,440	8.18
堀地 篤人	千葉県東金市	137,000	4.72
堀地 元	千葉市美浜区	48,000	1.65
銚子丸 社員持株会	千葉市美浜区浜田二丁目39番地	32,200	1.11
ジェイピー モルガン クリアリ ング コープ クリアリング 常任代 理人 シティバンク銀行株式会社	新宿区新宿 6 丁目27番30号	8,000	0.28
布施 栄一郎	千葉県市原市	2,500	0.09
本村 公弘	千葉市稲毛区	2,100	0.07
計		1,896,400	65.31

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年11月15日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,902,900	29,029	
単元未満株式	普通株式 400		
発行済株式総数	2,903,600		
総株主の議決権		29,029	

【自己株式等】

平成26年11月15日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)銚子丸	千葉市美浜区浜田二 丁目39番地	300	-	300	0.01
計		300	-	300	0.01

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成26年8月16日から平成26年11月15日まで）及び第2四半期累計期間（平成26年5月16日から平成26年11月15日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成26年11月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,996,947	5,277,074
売掛金	35,830	63,739
原材料及び貯蔵品	121,911	193,095
その他	284,339	299,792
流動資産合計	5,439,027	5,833,701
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	993,404	989,097
その他(純額)	448,016	420,946
有形固定資産合計	1,441,420	1,410,043
無形固定資産	44,893	42,700
投資その他の資産		
その他	1,415,716	1,391,882
貸倒引当金	1,078	1,078
投資その他の資産合計	1,414,638	1,390,803
固定資産合計	2,900,952	2,843,547
資産合計	8,339,980	8,677,249
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	831,843	989,087
短期借入金	132,000	180,000
未払金	857,932	853,055
未払法人税等	307,685	211,659
賞与引当金	103,000	154,037
株主優待引当金	31,048	32,662
その他	105,112	109,397
流動負債合計	2,368,622	2,529,899
固定負債		
資産除去債務	177,129	179,878
その他	443,079	423,544
固定負債合計	620,209	603,423
負債合計	2,988,832	3,133,322

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成26年11月15日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	4,799,165	4,991,908
自己株式	787	787
株主資本合計	5,351,157	5,543,901
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9	25
評価・換算差額等合計	9	25
純資産合計	5,351,147	5,543,926
負債純資産合計	8,339,980	8,677,249

(2)【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年5月16日 至平成25年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年5月16日 至平成26年11月15日)
売上高	8,795,819	9,079,543
売上原価	3,674,189	3,757,952
売上総利益	5,121,630	5,321,590
販売費及び一般管理費	4,702,940	4,878,848
営業利益	418,690	442,742
営業外収益		
受取利息	2,304	2,335
協賛金収入	13,570	15,429
その他	5,395	6,789
営業外収益合計	21,269	24,554
営業外費用		
支払利息	2,596	1,968
現金過不足	955	589
その他	-	45
営業外費用合計	3,551	2,603
経常利益	436,408	464,693
特別損失		
固定資産除却損	888	-
特別損失合計	888	-
税引前四半期純利益	435,520	464,693
法人税等	194,895	193,561
四半期純利益	240,625	271,132

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年5月16日 至平成25年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年5月16日 至平成26年11月15日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	435,520	464,693
減価償却費	130,652	125,271
建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料	23,201	25,370
賞与引当金の増減額(は減少)	45,472	51,037
受取利息及び受取配当金	2,313	2,345
支払利息	2,596	1,968
固定資産除却損	888	-
売上債権の増減額(は増加)	3,003	27,909
たな卸資産の増減額(は増加)	116,159	71,183
仕入債務の増減額(は減少)	6,212	157,243
未払消費税等の増減額(は減少)	3,536	26,554
その他	62,360	20,885
小計	695,496	729,816
利息及び配当金の受取額	549	615
利息の支払額	2,594	1,973
法人税等の支払額	245,048	288,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	448,403	439,555
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	383,855	383,932
定期預金の払戻による収入	383,767	383,855
有形固定資産の取得による支出	84,993	97,453
無形固定資産の取得による支出	-	1,990
長期前払費用の取得による支出	7,800	18
敷金及び保証金の差入による支出	8,184	5,149
敷金及び保証金の回収による収入	4,921	2,158
建設協力金の支払による支出	46,000	-
その他	-	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	142,144	102,502
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	250,000	300,000
短期借入金の返済による支出	230,000	252,000
リース債務の返済による支出	32,396	26,375
配当金の支払額	77,720	78,625
財務活動によるキャッシュ・フロー	90,116	57,001
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	216,141	280,051
現金及び現金同等物の期首残高	3,846,989	4,589,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,063,130	4,869,875

【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年5月16日 至 平成25年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年5月16日 至 平成26年11月15日)
給料及び賞与	2,255,019千円	2,310,594千円
賞与引当金繰入額	156,352	154,037
株主優待引当金繰入額	16,991	20,759

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年5月16日 至 平成25年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年5月16日 至 平成26年11月15日)
現金及び預金	4,470,249千円	5,277,074千円
預入期間が3か月を超える定期預金	407,118	407,199
現金及び現金同等物	4,063,130	4,869,875

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成25年5月16日 至 平成25年11月15日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月8日 定時株主総会	普通株式	78,389	27.00	平成25年5月15日	平成25年8月9日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成26年5月16日 至 平成26年11月15日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年8月7日 定時株主総会	普通株式	78,388	27.00	平成26年5月15日	平成26年8月8日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(金融商品関係)

前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券は当社の事業の運営において重要なものでないため記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当社は、デリバティブ取引を行っておりませんので、該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、グルメ回転寿司事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成25年5月16日 至平成25年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年5月16日 至平成26年11月15日)
1株当たり四半期純利益金額	82円88銭	93円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	240,625	271,132
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	240,625	271,132
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,903	2,903

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

株式会社オール・エフからの事業の一部譲受け

1.概要及び目的

当社は平成26年10月15日開催の取締役会決議に基づき、同日付で株式会社オール・エフから寿司店事業を譲り受ける旨の事業譲受契約を締結しました。

当社は、グルメ回転寿司事業を展開し、これまで業容を拡大してまいりましたが、今後ますます他社との圧倒的な差別化を図る必要があると考えておりました。このため、グルメ回転寿司業態以外の「立ち寿司」事業を取り込み、事業の多角化と、江戸前寿司の味と技をグルメ回転寿司事業へ継承させ、さらなる質とサービスの向上を図り、かつ企業価値向上を図ることを目的とし、今回の店舗取得に至りました。

2.譲り受ける相手会社の名称

株式会社オール・エフ

3.譲り受ける事業の内容

寿司店2店舗

4.譲り受ける資産・負債の額

資産の額は算定中です。譲り受ける資産は、棚卸資産、有形固定資産、無形固定資産及び投資その他の資産です。負債は譲り受けません。

5.譲受の時期

平成26年11月16日 江戸前すし百萬石 新小岩店 事業譲受日

平成26年12月1日 江戸前すし百萬石 幸 町店 事業譲受日

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年12月26日

株式会社銚子丸

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 稲垣 正人 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高橋 聡 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銚子丸の平成26年5月16日から平成27年5月15日までの第38期事業年度の第2四半期会計期間（平成26年8月16日から平成26年11月15日まで）及び第2四半期累計期間（平成26年5月16日から平成26年11月15日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銚子丸の平成26年11月15日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。